成績概要書（2005年1月作成）

研究課題：キャベツの品種特性Ⅱ
担当部署：北見農試 作物研究部 畑作園芸科
協力分担：農政部農産園芸課、地域農業センター
予算区分：受託
研究期間：2003～2004年度（平成15～16年度）

１．目的

キャベツの民間育成品種について、タイプ別・作型別の品種特性調査を行い、産地における品種選択の際の最新資料を提供する。

２．方法

１）北見農試における栽培の概要：表１のとおり。
２）育苗方法：128 穴セルトレイを使用し、培土にはピートモス主体の市販軽量培土を用いた。
３）1 区面積：16 年の寒玉のみ 9.6 ㎡、その他は 7.2 ㎡。反復数 2。
４）供試品種

①作期Ⅰ　ボールタイプ：標準品種「アーリーボール」他、15 年度 7 品種、16 年度 8 品種
　　サワータイプ：標準品種「藍春ゴールド」他、15 年度.7 品種、16 年度 10 品種
②作期Ⅱ　サワータイプ：標準品種「藍春ゴールド」他、15 年度 10 品種、16 年度 9 品種
　　寒玉タイプ　：標準品種「おきな」他、15 年度 12 品種、16 年度 11 品種
③作期Ⅲ　サワータイプ：標準品種「藍春ゴールド」他、15 年度 6 品種、16 年度 7 品種
　　寒玉タイプ　：標準品種「おきな」他、15 年度 13 品種、16 年度 9 品種

３．成果の概要

１）品種特性調査

北見農試において 2 ヶ年供試し、総合的に標準品種に優る特性を示した品種・系統の概要を示す。

「プラディボール」：肥大性に優れる。縁腐れ症、裂球は発生しにくい。球形のそろいがやや劣る。草勢は弱い。
「ボールランナー」：肥大性に優れる。やや裂球しやすい傾向がある。縁腐れ症は発生しにくい。標準品種と比べて扁平である。草勢は弱い。
「エックスボール」：肥大性に優れる。生育がややばらつく傾向がある。縁腐れ症、裂球は発生しにくい。球形は標準品種と比べて扁平である。草勢は弱い。
「楽園」：縁腐れ症の発生は 15 年の作期Ⅰで若干発生したのみであった。生育のそろいはよく裂球の発生も少ない。草勢は強く、草姿は開張型である。
「若峰」：生育の早晩は標準品種とほぼ同等であるが、育苗特性が良好で、生育のそろいも良く、縁腐れ症の発生も少なかった。草勢は弱く、葉色はやや淡い。
「湖月」：肥大性は標準品種に比べやや劣る。草勢はほぼ同等。
「YR 初美 636」：肥大性に優れる。草勢は弱い。葉色は淡く、ワックスは少ない。

２）内部成分および縁腐れ症に関する調査

（１）硝酸含量には品種間差が認められたが、ボール・サワー・寒玉といったタイプ別、さらには作期別による一定の傾向は認められなかった。
　硝酸含量の低かったおもな品種・系統には、ボールタイプでは「プラディボール」・「アーリーボール」、サワータイプでは「葉緑」・「藍碧」、寒玉タイプでは「恋風」・「試行 203 号」・「YR 初美 635」があった。

（２）ビタミンＣ含量には品種間差が認められたが、タイプ別・作期別の違いはほとんど認められなかった。今回の試験では全般的にビタミンＣ含量が低く、５訂食品成分分析表の値 41㎎/100g を下回っていた。

ビタミンＣ含量の高かったおもな品種・系統には、ボールタイプでは「ニューボール」、サワータイプでは「藍碧」、寒玉タイプでは「試行 203 号」があった。

（３）縁腐れ症は作期Ⅰ・Ⅱで発生が見られた。特に平成 15 年の作期Ⅱにおける発生が多く、発生には品種間差が認められた。
縁腐れ症の発生が少なかったおもな品種・系統には、ボールタイプでは「エックスボール」・「マルシェ」、サワータイプでは「YR かぎろひ」、寒玉タイプ（作期Ⅱ）では「おきな」・「若峰」・「SK8-116」があった。

表１．耕種概要

年次	作期	播種期	定植期	収穫期	栽植密度cm		栽植株数(株/a)	堆肥の施用量(kg/a)	施肥量 (kg/a)		
					畦幅	株間			N	P_2O_5	K_2O
15	Ⅰ	4 月 23 日	5 月 19 日	7 月 28 日～8 月 8 日	60	35	476	なし	1.8	2.1	1.8
	Ⅱ	5 月 23 日	6 月 17 日	8 月 28 日	60	35	476	なし	1.8	2.1	1.8
	Ⅲ	7 月 1 日	7 月 23 日	10 月 15 日	60	35	476	なし	1.8	2.1	1.8
16	Ⅰ	4月19日	5月19日	ボール:7月20日 サワー:7月23日	60	35	476	なし	2.2	2.9	2.2
	Ⅱ	5月26日	6月22日	サワー:8月25日 寒玉:8月30日	60	サワー:35 寒玉:50	476 333	なし	2.2	2.9	2.2
	Ⅲ	7月1日	7月23日	10月12日	60	サワー:35 寒玉:50	476 333	なし	2.2	2.9	2.2

表２．総合評価の高かった品種・系統の特性一覧

タイプ	No.	品種・系統名	育苗特性	生育の早晩	病害	縁腐れ症	生育のそろい	球品質	耐裂球性
ボール	4	アーリーボール(標)	□	□	□	□	□	□	□
	5	プラディボール	□	○	○	□	△	△	□
	8	ボールランナー	□	○	□	□	□	○	△
	11	エックスボール	□	○	□	○	△	○	□
サワー	25	藍春ゴールド(標)	□	□	□	□	□	□	□
	22	楽園	○	□	□	○	○	□	○
寒玉作期Ⅱ	34	おきな(標)	□	□	□	□	□	□	□
	35	若峰	○	□	□	□	○	□	□
寒玉作期Ⅲ	36	おきな(標)	□	□	□	□	□	□	□
	34	湖月	□	□	□	□	□	□	□
	60	YR 初美 636	□	○	□	□	○	□	□

注１）各特性の評価は、高い順に◎＞○＞□＞△＞×
注２）寒玉系の作期Ⅲの標準品種としては「湖月」が設定されていたが、作期Ⅲについても「おきな」を標準品種として評価の基準とした。

４．成果の活用面と留意点

産地におけるキャベツ品種選定時の資料とする。

５．残された問題とその対応